

すこ〜れ ボランティア通信

●年2回発行

共に生き、共に学び、共に幸せを！

“収集ボランティア”

公益社団法人スコール家庭教育振興協会
ボランティアセンター

〒252-0206 神奈川県相模原市中央区淵野辺4-37-17

☎042(707)4500代表 FAX 042(707)4505

http://www.schole.org

発行人：田中 二三男



高槻 (大阪)



本巣 (岐阜)



横浜 (神奈川県)



金沢 (石川)



八王子 (東京)



長野 (長野)

小さな命のともしびに明るさを



倉吉パープルタウンショッピングセンターで募金を呼びかける (鳥取)

第39回のテーマは「子どもたちに生きるチャンス」を。世界で5歳未満の子供の死亡率を1990年と比較すると、半分以上に減少しました。しかし、それでも今なお、予防で救えた命のともしびが、およそ5秒に一つ消えています。

ユニセフは、小さな命が守られるように、予防接種の普及や栄養改善など、総合的支援活動を地域と一体になって取り組んでいます。

スコール協会は同キャンペーンの協力団体です。JR草津駅(滋賀県)をはじめ初開催6カ所を含む全国51カ所、約850名(うち、子供350名)が、幼い子供の命を守るために支援を呼びかけました。

ユニセフ Hand in Hand 第39回

スコール協会は連続37回目の参加

39回目をむかえたユニセフ「ハンド・イン・ハンド」募金キャンペーン。公益社団法人スコール家庭教育振興協会(会長・永池榮吉)は、昨年12月10日(日)に全国51カ所で募金活動を行い、師走の寒さに負けない明るく元気な声で募金を呼び掛けました。寄せられた159万5529円の善意は、同月21日(木)、当ボランティアセンターから公益財団法人日本ユニセフ協会(赤松良子会長)へ送金されました。

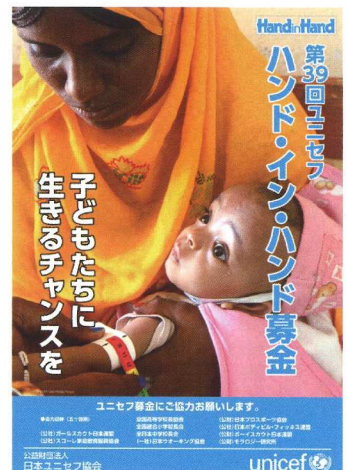
子どもたちに生きるチャンスを



町田 (東京)



溝口 (神奈川県)



キャンペーンポスター



苫小牧 (北海道)



佐野 (栃木)



吉祥寺 (東京)